

令和5年 議会報告会報告書

令和5年8月

大田原市議会 広報広聴委員会

1. 開催の検討

新型コロナウイルス感染症の影響により、市民の皆様との対面による市議会報告会は、令和元年度の開催を最後に、動画による開催を行ってきた。

そこで、広報広聴委員会は、市議会活動報告の責務及び感染症等諸情勢を鑑み、大田原市議会報告会実施要綱を遵守しつつ、過去の実施状況及びアンケートを参考に市民の皆様との対面による市議会報告会を開催することを決定した。

○具体的決定事項（令和5年議会報告会実施概要）

（開催方針）

- ①根拠 実施要綱（令和元年11月1日改正）に準拠
- ②班編成 「常任委員会」ごとの3班編成及び書記等の支援体制
- ③参加者確保 意見交換会団体選定（複数可。参加者20名程度を目標）

（概要）

- ①実施時期 7月（候補日 7月25日(火)、26日(水)）
- ②実施会場 本庁舎7階フロア
- ③次第（全体60分）

（常任委員会における準備事項）

- ①意見交換会団体選定、依頼
- ②役割分担の確認（サポート体制を含む）
- ③説明資料作成

（今後のスケジュール）

- ①常任委員会ごとに事前打ち合わせを実施
- ②市民への周知及び意見交換団体への通知
（広報おたわら7月号で折込みチラシ配布、議会ホームページ、議会フェイスブック）

2. 開催日時・場所・担当班及び参加人数

開催日	場所	担当班	参加人数
7月25日（火） 13時30分～ 14時30分	本庁舎7階 議会フロア	1班	19名（うち市外2名） （女性団体連絡協議会）
7月26日（水） 10時30分～ 11時30分		2班	17名（うち市外0名） （生活支援コーディネーター）
7月26日（水） 15時～16時		3班	20名（うち市外6名） （市有施設指定管理者）
			合計 56名（うち市外8名）

班	担 当 議 員	
1 班	委員会	総務常任委員会（意見交換グループ数 2）
	委員	委員長 櫻井潤一郎、副委員長 菊地英樹、伊賀純、斎藤光浩、新巻満雄、君島孝明、 高崎和夫
	支援 議員	滝田一郎、大塚正義、前田則隆、大豆生田春美、引地達雄
2 班	委員会	民生文教常任委員会（意見交換グループ数 2）
	委員	委員長 滝田一郎、副委員長 大塚正義、前田則隆、大豆生田春美、引地達雄
	支援 議員	中川雅之、深澤正夫、秋山幸子、前野良三、菊池久光
3 班	委員会	建設産業常任委員会（意見交換グループ数 2）
	委員	委員長 中川雅之、副委員長 深澤正夫、秋山幸子、前野良三、菊池久光 (欠席：小林正勝)
	支援 議員	櫻井潤一郎、菊地英樹、伊賀純、斎藤光浩、新巻満雄、君島孝明、 高崎和夫

3. 内 容

- (1)開会
- (2)議長（君島孝明）挨拶
- (3)各議員の自己紹介
- (4)報告会
 - 1)定例会等の概要報告
 - 2)意見交換
- (5)副議長（大豆生田春美）挨拶（閉会）

4. 意見交換会の内容

詳細な内容は、別紙各班の報告書をご参照ください。

5. 評価及び所感

今回は参加者確保の方策として、

- (1)各常任委員会の所管する団体への呼びかけ
- (2)意見交換会を40分に決定
とすることとした。

参加者は当初計画の概ね60名に対し各委員会とも17名から20名と平均した参加人数であり、合計は56名であった。所管団体の参加者により専門的且つ高度な協議が期待される一方、一般の参加者呼びかけも今後の課題と言えよう。

所管の専門分野の活発な意見交換ができたことは評価に値する。また、女性の参加者も一定数見られたことから女性からの期待度が高かったことが窺え、これも評価に値する。今後も女性のみならず幅広い年代層が参加しやすい報告会を開催しなければならない。その目標に向けて議会報告会の活発な広報等を行い、市議会議員全員の熱意と多くの市民の皆様のご意見を融合させる取組が求められる。

来期は新たな議員構成となることから、今回の4年ぶりの対面による市議会報告会を参考に、多くの市民の参加のもと、開かれた議会として活発な報告会を開催してさらに市民に寄り添った市議会になるよう進めていきたい。

以 上